八碁連だより

11月号　　第３１５号

発行日　　平成２９年１１月１日（水）
発行所　　八王子囲碁連盟
住　所　　八王子市横川町４２－８９
電　話　　０４２－６２３－０２５２
発行者　　小田　辰郎
編集者　　中谷　勝信

ケイトウの花畑とパンパスグラス　昭和記念公園　9月26日

http://yasu1120.la.coocan.jp/hatigoren.html

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は、八王子市内に　居住する囲碁愛好者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるよう機会を提供し、福祉の増進に寄与するとともに、棋力の向上を図ることを目的とする。

投了を考える

大和田囲碁同好会　相談役　井出　道明

長く暑い夏も過ぎ、近郊の紅葉もそろそろかと思わせる、さわやかな空気を感じさせるような昨今です。読書の秋ではありますが、不勉強の小生など、日頃余り囲碁の本を手にすることがごく少なく、まして暑さ嫌いの夏ではなおのこと、落ち着いて読み、考えるのが苦手なのです。

対局に臨んでも、日によっては深読みできず、ハッと気付いてやられてしまう事もしばしば。
投了の決断が案外と難しい。競り合って形勢有利になれば「しめた」なのですが、その逆に陥ったときのツラサ…。もはや策なしで投げ場を求めても、それもない。あとは「参りました」で幕。

調子の悪いときは当然形勢判断も悪い。盤面各所に急所を多く残し、後手の連続で終わって数えて見れば二十数目もの負け。見ていた上手は「もっと早く投げなきゃ」又は「ヨセはヨセ」というような表情に見て取れます。自分の甘さを痛感する次第です。

さて、盤上優劣がつき投了の場面。人によっての色々な終局を見せて貰っての感想…。自分の手番のとき。打つ代わりに「もう（手が）ありません」又は「負けました」等と軽く一礼。そのあと盤上で疑問手など、若干相手と検討して静かに石を収納する。これが一番きれいだと思います。

なかには、

1）自分の手番のとき、黙って突然盤の手前から打ち石を崩して始末する。相手は「アレ…」という表情（投げですか）。

2）相手の手番で考慮中に「負けました」宣言。自分の手番のとき打つ代わりに伝えるべきでしょう。

3）投了を伝える前に問題の石を動かして「こうすべきだった」、「ここは間違いだった」、「コウに弾くべきだった」など相手は一寸戸惑っても「もう勝ちでいいですね。終わりでいいですね」などと終局の念押し。

まだいろいろあるでしょうが、要するに勝負ごとは誰しも勝てばうれしく、負ければ悔しいのが常です。

しかし終わればお互いに同好会の親近感に戻って賑やかな雰囲気にひたり、共通の話題など語り笑いあう…。これが同好会に属する喜びでもあり楽しみだと思っています。

第２６回　活きいき囲碁大会の結果

長房　　１０月１日(日)　於　長房市民センター　　参加者　９５名

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	北野	長房	川口	南大沢	非会員	初心者教室	合計
８	１３	６	６	４	１	１	１	４３	４	２	４	２	**９５**

A組　２６名（五段～七段）
優勝：山縣文雄　北野/六段→七段　準優勝：山本数英　川口/六段　３位：松本健彦　石川/六段
B組　２２名（二段～四段）
優勝：鈴木富士雄　長房/二段→三段　準優勝：白石好伸　台町/二段　３位：中川寿夫　大和田/二段
C組　２５名（２級～初段）
優勝：東 征夫　非会員/１級→初段　準優勝：筒井正範　浅川/初段　３位：近藤亮弘　長房/初段
D組　２２名（３級～９級）
優勝：麻生守弘　元八/４級→３級　準優勝：藤森　功　恩方/５級　３位：市川信治　恩方/４級

川口　　１０月１５日(日)　於　川口市民センター　　参加者　７３名

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	北野	長房	川口	南大沢	非会員	初心者教室	合計
３	１７	８	３	５	０	１	０	１３	１８	３	０	２	**７３**

A組　２６名（四段～七段）
優勝：福嶋　常光　長房/六段　準優勝：若穂囲　廣志　川口/七段　３位：高橋　哲男　川口/四段
B組　２２名（初段～三段）
優勝：殿崎正明　浅川/三段→四段　準優勝：小町谷常孝　浅川/二段　３位：高橋俊夫　大和田/二段
C組　２５名（８級～１級）
優勝：箕輪　紀雄　恩方/５級→４級　準優勝：鳥居範治　川口/５級　３位：中村勝嘉　長房/１級

日本棋院八碁連支部コーナー

（1）また、負けました！！

第４回交流親睦囲碁大会を９月１０日に東浅川保健福祉センターで行いました。
相手は昨年に引き続き「お茶の里」入間支部で、試合方法はA，B，C，D の４クラスに分け、ハンデイ戦で、持時間は各３５分とし、それぞれ相手を替え３回戦を行いました。
結果は５勝３０敗１分の大差での敗退でした。

参加選手　八王子チーム　Aクラス　吉澤　實　・三島　敏明・金本　好正（0勝9敗）
Bクラス　信江　峻　・松本　健彦・竹添　文彦（1勝8敗）
Cクラス　佐藤　義廣・山本　数英・小田　辰郎（3勝5敗1分）
Dクラス　竹内　朝晴・岸村　佐　・望月　成一（1勝8敗）
（補）南　正一郎
入間チーム　水村・森永・鳥越・佐々木・片平・米川・西原・本木・菅野・塚本・脇・三浦・（補）佐藤　の各氏

（2）第６回指導碁の募集

日本棋院　熊（ユウ）ホウ 六段による指導
・日時　平成２９年１２月２４日（日）　１０時より
・場所　東浅川保健福祉センター　４Ｆ
（当日は二段以下の八碁連大会を開催しています）
・参加資格　八碁連会員　・募集人数　１６名（先着順で締め切ります）
・参加費　１，５００円（昼食代は別）
・内容　第1ラウンド　１０：３０～１１：４５
昼食・歓談（棋士を囲んで）
第2ラウンド　１２：３０～１３：４５
第3ラウンド　１３：４５～１５：００
第4ラウンド　１５：００～１６：４５
各ラウンド4面打ちとし、ラウンド順は前以て連絡します。

・申込み先　南　正一郎　ＴＥＬ＆ＦＡＸ　６６３－５４４６
メール　shominami03@yahoo.co.jp
・締め切り　１２月１０日（日）

高齢者（８０歳）表彰者　リスト

平成２９年１２月末日で満８０歳になられた方の表彰を八碁連大会で行います。

１）大会会場（東浅川保健福祉センター）で

三段以上の表彰者・・・１１月１２日（日）９：４０　開会式の会長挨拶後に表彰

二段以下の表彰者・・・１２月２４日（日）９：４０　開会式の会長挨拶後に表彰

２）表彰される方は上記日時に出席して頂きます、参加出来ない方は記念品を受取る方を配慮して頂きその方から受け取るようにして下さい。尚、当日は名前を呼びますので前に出て頂き、対象者が全員並びましたら記念品を会長よりお渡しいたします。

注） 二段以下の表彰は１２月２４日のため、表彰者の名簿は「八碁連だより１２月号」に掲載します。

三段以上（１１月１２日表彰）　　１６名

	氏　　名	所　属	生　年　月
１	望月　成一	浅　川	昭和１２年　２月
２	小黒　尚	浅　川	昭和１２年　９月
３	岸村　佐	浅　川	昭和１２年１０月
４	大川　倭男	恩　方	昭和１２年　１月
５	佐藤　裕久	恩　方	昭和１２年　７月
６	井上栄次郎	中　野	昭和１２年　７月
７	大谷　征也	中　野	昭和１２年１０月
８	中村　靖	中　野	昭和１２年１１月
９	吉田　信夫	台　町	昭和１２年　９月
１０	柳井　光夫	北　野	昭和１２年　１月
１１	佐々木胖充	北　野	昭和１２年　３月
１２	林　義博	北　野	昭和１２年　４月
１３	若穂囲廣志	川　口	昭和１２年　３月
１４	井上　国臣	川　口	昭和１２年　６月
１５	佐々木正治	南大沢	昭和１２年　７月
１６	清水　克彦	南大沢	昭和１２年　７月

２９年度前期タイトル獲得者

	名　　人		王　　座		天　　狗	
	優　勝	準優勝	優　勝	準優勝	優　勝	準優勝
浅川	真田誠二八段	岩田大平六段	吉田旭　七段	三島敏明七段	小西弥一三段	三島敏明七段
恩方	尾崎健二１級	徳満英世六段	中邑豊　七段	栗城幸吉初段	小久保捷朗二段	伊藤国男四段
元八	竹添文彦六段	小山忠孝五段	久保田勇二段	金尾誠一三段	粂川次夫２級	麻生守弘３級
中野	磯部信宏六段	樋口寿一六段	宮崎誠一五段	森本康男四段	望月毅士五段	岩本武　二段
大和田	柳豊太郎七段	森田良則初段	高橋俊夫二段	折谷範子二段	青山挌　七段	池田正三六段
石川	平松隆治五段	坂本勝雄八段	坂本勝雄八段	二宮学　五段	金本好正七段	木河専　三段
台町	斉藤重夫六段	小林實　五段	高本衛　八段	丸山郷　三段	斉藤重夫六段	新野哲雄六段
北野	山縣文雄七段	佐々木胖充四段	石坂慶通六段	吹上吉輝四段	平田弘一三段	古賀照也六段
長房	秋山一雄初段	小嶋英基七段	小嶋英基七段	澤田信夫四段	小嶋英基七段	赤松栄一郎二段
川口	鳥居範治５級	渡辺惠介三段	石井忠興六段	山本良宣四段	高取民治六段	豊野収　三段
南大沢	向井克彦五段	高堂和幸初段	信江峻　七段	和田和幸三段	向井克彦五段	高堂和幸初段

秋の昭和記念公園を彩る花々

秋晴れの心地よい季節となり囲碁のことを忘れ久し振りに「昭和記念公園」に行って来ました。
今が見頃の花々を撮影してきました、カラーでないのが残念ですが一部を掲載致します。
皆さんもさわやかなこのシーズンお出掛けになられて、目の保養をなされてはいかがでしょうか・・・

シュウメイギク

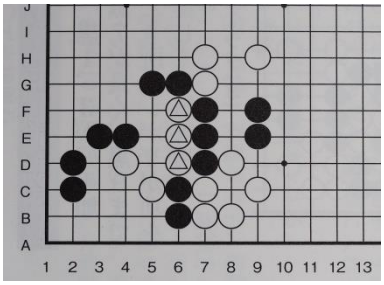
コスモス（サニーイエロー）

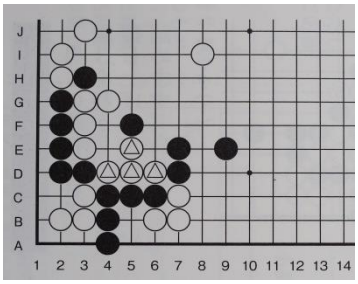
コスモス（バイカラーピンク）

ダリア

強くなる！！　シリーズ　『要石を取るシボリ』

（囲碁研究１０月号より）





問題１（左）黒番です
　要の△三子を取って
　　下さい
問題２（右）黒番です
　△四子を取るための
　　テクニックは

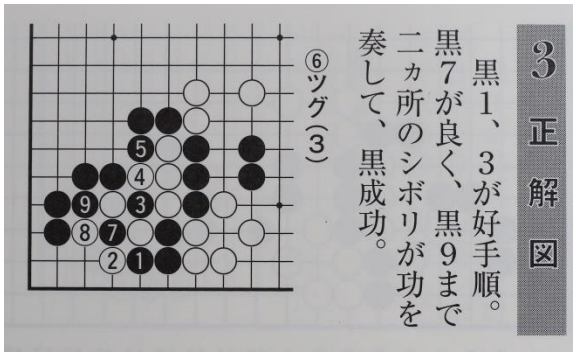
編集後記　　八碁連では、毎年この時期に満８０歳になった仲間の表彰を行っています。

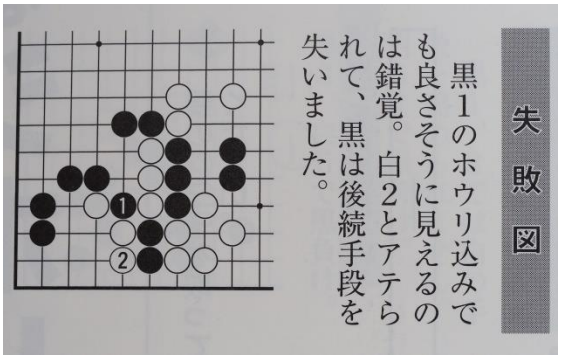
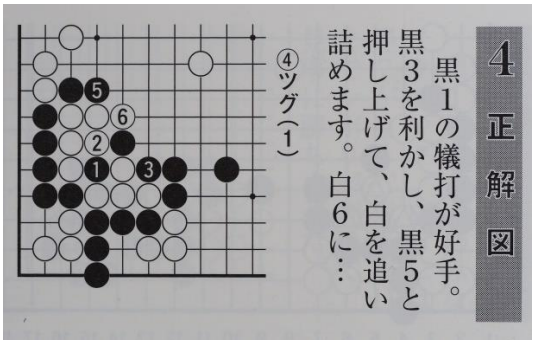
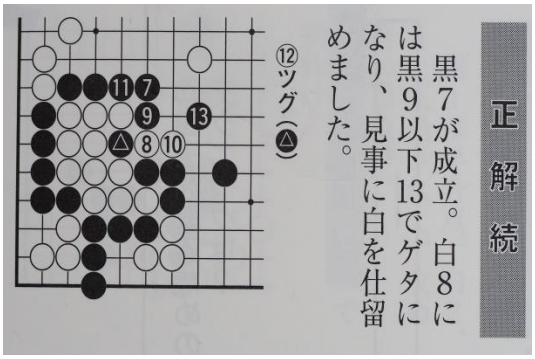
昨年は２６名で私もその一人でしたが、今年は２５名の仲間が表彰されます。今年７５歳～７９歳の人が１１９名（八碁連だより６月号参照）で、毎年約２４名の仲間が８０歳台になっていきます。

現在八碁連の会員の平均年齢は約７７歳です、元気で囲碁に打ち込む８０歳台の仲間がふえ、そして若い会員もどんどん増えて、会員の平均年齢が下がっていくよう、「八碁連だより」を編集していると、今月は特にそう願わずにはいられなくなりました。

会員の皆さん健康が第一です、身体には十分気をつけて、毎日笑顔で囲碁をたのしみましょう。

問題１の解答





問題２の解答